

平成30年度 学校評価結果の考察と今後の対応について

長崎県立鶴南特別支援学校

1 教育活動について

保護者（3.40→3.50）、教職員（3.20→3.30）となり、どちらもわずかであるが、昨年度より評価の平均が上回った。保護者において唯一評価が下がった項目が「17：児童生徒の将来の夢や願いの実現に向けた情報を提供している。」である。保護者にとっては、もっとも関心が高い項目の一つであると思われる。この項目の教職員の評価については、昨年度より0.2ポイント上昇しているが、今後も、キャリア教育の充実や進路指導の情報提供及び保護者研修会の充実を図っていく必要がある。また、昨年度より0.2ポイント上がった項目が、「9：学校行事や授業などで一人一人の生き生きとした活動の様子がみられる。」であった。

教職員については、昨年度より0.2ポイント上昇した項目が9項目、下がった項目が1項目であった。今後も教職員の研修の充実を図り、保護者への的確な情報発信及び児童生徒を主体とした教育活動の充実に努めていくことが大切である。

2 教育環境について

保護者（3.30→3.37）、教職員（2.90→3.03）となり、どちらもわずかに昨年度の平均を上回っている。保護者については、本校の教育環境について理解いただいているものと推察される。教職員については、「22：校舎内外の施設が整備され、清潔な学校作りにつとめている。」の項目において評価の平均が2.9である。遊具施設等の営繕等を含め、安全で清潔な学校作りに努めていくことが必要である。

3 開かれた学校について

保護者（3.30→3.30）、教職員（3.20→3.30）となり、保護者は同値であったが、教職員はわずかに上回っていた。保護者については、「25：学校の情報をホームページや各種便りなどで伝えている。」の項目で0.1ポイント下がっていた。今後も、学校から出す便りの内容の充実を図っていく必要がある。また、古い方のホームページは今後削除の予定である。併せて、地域へ開かれた学校作りに努めていきたい。

4 総括

総合評価は、保護者（3.33→3.39）、教職員（3.10→3.21）となり、どちらもわずかに昨年度を上回った。保護者の項目別評価において、0.1ポイント下がった項目が1項目あったが、その他の項目は、横ばいか0.1～0.2ポイントの上昇が見られた。教職員の項目別評価においては、0.1ポイント下がった項目が2項目であり、その他の項目は横ばいか0.1～0.3ポイントの上昇であった。どちらも平均が3.2以上であり、おおむね達成できているものと推察される。しかし、項目によっては、評価1も1～2名見られることから、今後は課題と考えられている部分を改善できるよう努めていくことが大切であると考えます。

	1 教育活動		2 教育環境		3 開かれた学校		総計		
	H30	H29	H30	H29	H30	H29	H30	H29	
全学部	教職員	3.30 ↑	3.20	3.03 ↑	2.90	3.30 ↑	3.20	3.21 ↑	3.10
	保護者	3.50 ↑	3.40	3.37 ↑	3.30	3.30 -	3.30	3.39 ↑	3.33
小学部	教職員	3.50 ↑	3.30	3.23 ↑	3.16	3.50 ↑	3.30	3.41 ↑	3.25
	保護者	3.60 -	3.60	3.50 ↑	3.46	3.40 ↑	3.30	3.50 ↑	3.45
中学部	教職員	3.40 ↑	3.20	2.97 △	3.00	3.20 -	3.20	3.19 ↑	3.13
	保護者	3.50 ↑	3.40	3.33 ↑	3.30	3.30 -	3.30	3.38 ↑	3.33
高等部	教職員	3.20 -	3.20	2.90 ↑	2.76	3.10 △	3.20	3.07 ↑	3.05
	保護者	3.40 ↑	3.30	3.30 -	3.30	3.30 -	3.30	3.33 ↑	3.30

↑：向上 △：下降 -：同値